

下関市立大学広報



海峡の英知。未来へそして世界へ。

公立大学法人

下関市立大学

Shimonoseki City University

2015年7月1日 第76号

発行：下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL. 083-252-0288

FAX. 083-252-8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>



平成27年度 第54回入学式

教授 中嶋 健
(学部長)

4月4日(土)、本学体育館で入学式が行われました。

今年度は、学部学生として経済学科247名、国際商学科237名、公共マネジメント学科81名で合計565名(うち留学生12名)、編入学生14名、大学院生7名で総数586名の新入学生を迎えました。

式の始めに吉津直樹学長から「入学式告示」が行われ、経済現象は人間を見る確かな目が必要であること、学びたいという強い志を持ち、優れた本との出会いを大切にすることなどが、学生の心すべきこととして伝えられました。

そして、中尾友昭市長、荻野喜弘理事長からの祝辞のあと、「新入生代表誓いの言葉」が国際商学科の平岡陽香さん、大学院代表の周伝龍さんから宣言されました。平岡さんは、国際間の問題を理解し、語学力を身につけ、国際的に活躍できる人材になるという目標をしっかりと定め、勉学に励むことを誓いました。約500名にのぼる保護者、市役所からの来賓者も参列され、雨後の朗らかな陽気に包まれた熱気あふれる入学式でした。



公共マネジメント学科新入生研修 ～上級生リーダーとして参加して～

公共マネジメント学科3年 中村 耕介
(福岡県立中間高等学校出身)

4月6・7日に公共マネジメント学科の新入生を対象に合宿形式で「公共マネジメント学科新入生研修」が行われました。この研修の趣旨は、オリエンテーションや食事、入浴、就寝、清掃を一緒に行うことで、新入生同士の友達作りや上級生・先生との交流をはかり、大学生活の不安を解消することです。そして新入生に大学生活のスタートダッシュを切ってもらうことでした。スケジュールとしては初日の朝に大学の体育館でグループ分けや自己紹介、絵しりとり、クイズなど、上級生が考えたレクリエーションを行いました。その後、下関市立青年の家に移動し、昼食の後、菅正史准教授を講師にグループディスカッションを行いました。次に、青年の家の体育館に移動し、長縄跳びや絵描きリレーを行いました。夕食を終え、全体交流会を立食形式で行いました。2日目は朝食、朝の集い、清掃を済ませ、大学に到着し、合宿は終了しました。

全体的に新入生は楽しんでいる様子で、友達作りや上級生・先生との交流を積極的に行っていました。特に全体交流会では新入生は上級生にサークルやアルバイト、履修のことなど大学生活について積極的に聞いており、不安が解消できたのではないかと思います。

今回の合宿に上級生として参加して、いろいろな人と交流が出来ました。新入生はもちろん、先生や普段は話すことが少ない同級生や後輩とも関わることができ、自分の交友関係を広げることができました。運営の準備や当日の進行も、上級生みんなで協力し、楽しみながらでき、本当に参加して良かったなと思いました。



新任挨拶

地域の魅力を伝え、地理への関心を

准教授 佐藤 裕哉
(人文地理学 地理情報科学)



はじめまして。本年4月に着任いたしました佐藤裕哉と申します。専門は地理学で、主に人文地理関連の授業を担当しております。

さて、地理学を専門にしておりますと、いろんなところに出かけるのが仕事で(半ば趣味ですが)、3月末に下関に来てから唐戸や長府、角島などを訪れました。山陽と山陰、都市と農(漁)村を併せ持つ下関の多様な地域性を楽しんでおります。また、大分県出身ということもあり、温泉巡りも趣味の1つなのですが、川棚や一の俣などは前任地の広島と比べて温泉の質が高いように思います(あくまで個人的な感想です)。(何だか観光案内と化してきましたが…)下関は、魅力的な場所が多くフィールドワークの題材に事欠きません。これらの魅力を伝えることができれば、自ずと地理に興味を持ってもらえるのではないかと考えています。まずは学生と一緒にいろんなところに出かけたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

広く深い知見の涵養を目指して

講師 嶋田 崇治
(財政学 地方財政論)



本年4月より講師に着任いたしました嶋田崇治と申します。専門は財政学および地方財政論です。一般的な傾向として、地方では若者の都市への流出が続き、労働力人口の比率が低下する一方、高齢者比率は上昇する、といった状況にあります。

これまで高齢者や児童への無償サービスを提供してきた家族・共同体の機能が衰退した現状を考えれば、対人社会サービスへのニーズが高まるのは当然の流れです。担い手としての地方に対する期待が膨らむ一方、財源面では大きな制約があります。中央からの移転財源に依存している、ニーズの地域差に対応した対人社会サービスの供給はできません。従来型の公共事業やバラマキにかわって、分権化を進め、独自のサービスによって住民のニーズを満たし、住民の同意のもと独自財源を強化していくことが求められます。

地方における経験の乏しい若輩者ではありますが、地方の現実について多くを学び、自身の考えと現実の距離を測りながら、広く深い知見を涵養し、研究や教育を通じてこの地域に貢献していければと考えております。何卒よろしくお願いいたします。

東アジアの玄関口からアジアを見つめる

特任教員 馬 叢慧
(中国語教育 日本・中国間の比較文化等)



皆様はじめまして、4月より下関市立大学で中国語の特任教員として着任しました、馬叢慧(ま そうけい)です。

関門海峡の素晴らしい景観と豊かな自然に恵まれた下関は、地理的にも日本の要衝に位置することで、本州のみならず東アジアの玄関口としても有名であり、私も中国に住んでいる頃から知っている地名でした。

私は、これまで中国語教育や日本と中国の文化比較などの講義を担当してきましたが、個人的な研究では日本のお茶文化や江戸時代の文人などを対象としてきました。この下関は文化的な面でも興味深い地域と言えます。

本学には、まさに日本やアジアの各地から学生が集まっておりますが、こ

うした国際性やダイバーシティ(多様性)こそが下関らしさなのではないかと思っています。

この下関で皆さんとお会いできたことをきっかけに、将来的にはアジアにそして世界に羽ばたくことのできる国際人が、一人でも多く育ってくれることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

地域貢献を考えるにあたって

特任教員 吉武 由彩
(福祉社会学)



本年4月から地域貢献担当の特任教員として赴任しました吉武由彩と申します。

地域共創センターにおける企画・調査・分析等に関する業務に加え、フィールドワーク補助など一部の実習も担当します。

専門は福祉社会学ですが、その中でもこれまで主にボランティア的行為に関する研究を進めてまいりました。ボランティアの担い手の方々に関心を持ち調査を行いながら、担い手に共通する属性や価値意識について考えてきました。また、過疎地域における生活課題について考える研究会に参加し、一人暮らし高齢者への聞き取り調査を行ってまいりました。

少子高齢化や人口流出などの問題は下関市においても認められますが、そのような中、まちづくり活動の担い手であるボランティアについて考えていくことや、一人暮らし高齢者の生活について考えていくことも重要ではないかと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

日中両国の悠久の歴史の文化

特任教員 商 金林
(中国現代文学)



皆さん、こんにちは。今年4月から、北京大學からの派遣で着任した商金林です。下関市立大学の特任教員として、中国語の授業を担当することを大変光栄に思っております。北京大學では、中国現代文学を研究しておりました。中国現代文学を代表する作家の魯迅、郭沫若、郁達夫等は、皆日本に留学した経験があることからわかるように、近代日本は中国近代文学の源流であるとも言えます。下関市立大学に赴任する間は、日本文化をより多く知り、詳しく鑑賞するとともに、より一層日中両国の文化について理解を深められるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

継続は力なり

特任教員 王 瑤
(中国語教育学 中国語教授法)



皆さん、こんにちは。初めまして。青島大学漢語言学院から参りました王瑤と申します。2015年～2016年の1年間、下関市立大学で教鞭を執ることができ、とても光栄に存じております。どうぞよろしくお願いいたします。

私は「対外漢語教学」に従事してすでに11年になります。この「対外漢語教学」という仕事をとても気に入っています。これまで自分の学んできたことが世界各地から来た中国語という言語を学びたい人たちに助けることができると同時に、私も様々な異なる文化の考えや言語に触れることで、視野を広めることになり、言語教育研究の助けとなっています。私は1、2年生の中国語の授業を担当しています。私の授業の主な特徴は、内容は

深いけれども、表現はわかりやすくというものです。簡潔で明瞭な言葉と教授法で語彙、文法などの授業内容を説明することができるので、学生が中国語を習得する助けになると考えています。親しみを感じさせる、真面目さが私の仕事の態度です。楽しく協力できればと思います。ありがとうございました。

退任挨拶

「つなぐ」役割

藤谷 岳 氏



「もったいないなあ」。下関に来て、私が率直に感じたことです。下関市には、私などが申し上げるまでもなく、豊富な地域資源があります。自分たちの住まわちを元気にしていこうと日夜努力されている地域の方々、行政や企業の方々、そして、下関市立大学の優秀な教職員と高い志をもった学生という、豊かな人的資源も有しています。このような地域は、全国を見渡しても、類い稀だと思えます。あとは、これらがうまくつながっていくことができれば、下関は、他のどこにも負けない、独自の発展を成し遂げることができると信じています。

そのために重要な役割を担うのが、地域共創センターと地域貢献担当教員です。私は、そのことを自覚し、微力ながらも、精一杯、地域と大学を「つなぐ」ことに勤しんできたつもりです。在任していた1年間では、目立った成果を残すことはできませんでした。しかしながら、大学が、そして、下関のみなさまが、一丸となって地域を元気にしていくための、ほんの小さなきっかけだけでも作ることができていたら、それに勝る喜びはありません。

最後になりましたが、下関で出会い、ご指導、叱咤激励いただいたたくさんの方々、心より御礼を申し上げます。みなさまのますますのご活躍と、下関のさらなる発展を、関門海峡を越えて少し離れた新天地から、お祈りいたしております。

謝辞、みなさま

郝 靚 氏



昨年度一年間、青島大学から派遣された特任教員として、中国語授業を担当した郝靚（ハオリャン）でございます。この一年間、学長をはじめ、先生方皆様のおかげで無事に交流の仕事を終えることができました。深くお礼申し上げます。

振り返ってみれば本当にあっという間の、とても充実した楽しい一年間でした。教学の面では、学生たちが真面目に授業を聴いてくれて、まだ慣れていない中国語で挨拶してくれてとてもうれしく思っています。研究の面では、いろいろアドバイスをいただき、福祉センターをご案内していただき、また資料を集めてくださり本当にありがとうございました。また、国際交流担当の教職員の方々が生協の面までもいろいろ心配してくれて、本当にありがとうございました。私のようなものが、何とか大過なく仕事をする事ができたのは、ともに仕事をしてくださった同僚の教職員の方々、授業を聴いてくれた学生諸君など、周囲の方々のおかげであることをしみじみ感じました。

いろいろ、本当に「謝謝!」帰国してからも両校の交流のために力を尽くしたいと思います。

特待生表彰式

4月30日(木)、本館II棟5階中会議室において、平成27年度特待生表彰式が行われました。

下関市立大学では、規程に定められた修得単位数を取得し、かつ各学

科での成績が優秀であった学生を特待生として認定し、特典として授業料半額免除等を行っています。今年度は2・3・4年生各5名、留学生2名の計17名が特待生として認定されました。

初めて認定された学生(2年生)は、「父母からの連絡を受けて知った。父母も大変喜んでいて。表彰されたことは今でも信じられないが、これからも頑張ります。」と、喜びや今後の意気込みを語ってくれました。



学生と教員が長門市宇津賀で地域調査を実施

教授 水谷 利亮

フィールドワークを組み込んだ授業の教養演習Bと専門ゼミの学生や、地域共創センターが支援する学生有志からなる「地域づくり応援隊」と、藤谷(特任教員)・松本(貴)(公共マネジメント学科講師)・水谷(同学科教授)・吉津(学長)の4名の教員が協働して、長門市の宇津賀地区で地域づくりに関する調査・研究を2014年度に行った。11月からは「東後畑集落を中心とする油谷宇津賀地域における農村資源保全継承と地域活性化」をテーマとして、長門市からの受託研究として位置づけた。

年度末に『海と山が出会う豊かな里、宇津賀(2014年度長門市油谷宇津賀地区調査研究報告書)』をまとめ、その成果をもとに地域資源に関する情報を盛り込んだ『地元学』で『あるもの探し』の宇津賀マップを作製した。今後の地域づくりの参考資料となることを期待して、両方とも宇津賀地区の全戸に配られた。関連して、3月18日に長門市中央公民館で地域づくりに関するシンポジウムも開催し、長門市との交流も深めた。

何よりの収穫は、参加学生たちが、フィールドワーク調査で出会った住民の方々との交流や地域の自然環境にふれることを通して、経済的な物差しではかることができない農山漁村・「田舎」がもつ「豊かさ」や価値に気づき、多くの学びや感動を得ることができたことである。



第50回卒業式が開催されました

3月25日(水)、本学の体育館において、第50回卒業式が開催されました。学生歌「青潮ゆたかに」を斉唱した後、経済学科195名、国際商学科189名、公共マネジメント学科59名、大学院生4名の計447名に学位記が授与されました。公共マネジメント学科は開設されて4年が経ち、今回が1期生の卒業式となりました。

吉津学長の告辞では「教養を深め、高い志を持って、そして人々への愛を持って、未知なる未来に踏み出してください。」との言葉が卒業生に送られました。理事長、来賓祝辞に引き続き、各種表彰が行われました。

今回は、優秀な論文を執筆した学生への優秀赤馬賞、優秀な成績を取めた個人・団体に贈られる後援会表彰に加え、初めて同窓会表彰も行われました。ボランティア活動を行いながら世界各地を訪れた国際商学科の岡本和樹さんに、社会活動の活躍をたたえ、表彰状が贈られました。その後、卒業生総代として、公共マネジメント学科の田和彩花さんが、大学生活での経験を織り交ぜ、社会人としての将来への決意と謝辞を述べました。

式の終了後は、卒業生と教員が集い、市内のホテルでにぎやかな祝賀会が開催されました。



海岸清掃ボランティアを行いました

5月17日(日)長門市油谷大浦海岸において、ボランティアによる海岸清掃活動が行われ、本学の学生と教職員の合計12名が参加しました。致景の広がる大浦海岸では、国内外から大量に漂着するごみが問題となっています。漂着ごみの量と大小の石が散乱する足場の悪さのため、地元の方による清掃活動には限界があります。今回の清掃活動には約1,000人が参加し、バケツリレー方式でごみを運ぶことにより、約3.4トンのごみを回収することができました。

今回の海岸清掃ボランティア活動には、県内12大学が加盟する山口県エコキャンパス取組促進協議会として協力し、県内各地の大学から計215名が参加しました。協議会が行ったアンケートでは、国内外からのごみが漂着していることや、海岸清掃への貢献による達成感や満足感、地元の方々や他大学の学生との交流についての感想が記入されており、参加した学生にとっても貴重な経験となったようです。



新春には体育会と空手部の合同で寒稽古を実施しています。今年は「獅子奮迅」を活動テーマに掲げ、息巻く獅子の如く、高みを目指し、固い決意のもと約600名もの体育会会員一丸となって本学の学生活動の活性化に取り組んでいます。



文化会の活動について

第31代文化会会長 経済学科4年 川合 達也
(和歌山県立日高高等学校出身)

文化会は大学の文化系サークルを取りまとめる団体であり、現在21サークルが属しています。総務部、財務部、企画部と3つの部署に分かれそれぞれの活動を行っています。総務部は、各部の大学施設利用の管理、印刷業務の受注を行っています。財務部は、活動資金を各部の使用状況に合わせて適切に分配、確認し、財務という名の通りお金の管理をしています。企画部は、学生同士の交流を深めたり、大学祭を盛り上げるお手伝いとして楽しいイベント企画を行っています。

文化会は、大学と学生のつながりを円滑にする潤滑剤のような役割を果たしています。大学に対する要望があれば是非文化会に相談してみてください。もしかしたらお力になれるかもしれません。月、水、金の昼休みに文化会室を開いていますので、お気軽にお越し下さい!!



就職活動後ろ倒しの実態

特任教員 森山 智彦

今年は就職活動の開始時期が後ろ倒しになり、企業も学生も手探りの中で就活を進めざるを得ない年になりましたが、最近になってようやく実態が見えてきました。その特徴は、分散化とそれに伴う情報の見えにくさです。政府の要請(3月に広報、8月に選考を開始)を遵守する企業も当然ありますが、昨年と同時期に事実上の広報、選考活動を水面下で行っている企業も多数あります。そのため、現時点で既に内々定を得ている学生がいる反面、本命の企業の選考が始まらず何をすべきかが分からないと嘆く学生もいます。

学生にとってより難しいのは、採用に関わる重要な情報が、能動的に把握しようとしにくい限り、全く入ってこない点です。残念ながら、こういった情報は都市部を中心に流通しているため、都市圏の大学生は今まさに活動のピークを迎えています。納得いく就職先を見つけるためにも、都市圏における積極的な情報把握に努めて頂きたいと考えています。

体育会・文化会 活動紹介

獅子奮迅

第40代体育会会長 経済学科4年 梶谷 侑生
(愛媛県立宇和島高等学校出身)

体育会は、大学側との連携を取りながら、体育会所属の23サークルが快適に部活動を行えるよう支援しています。体育会本部は各部の代表者16名で構成され、主な事業には、毎週の報告会、毎月の各部長会議、年に2回の体育会総会があり、これらの事業における会員相互の意見交換による体育会の改革に常に努めています。

体育会主催の学内行事として、新入生歓迎諸行事、ソフトボール大会、

新カリキュラム始動

少人数教育を充実させた新カリキュラム

教授 西田 雅弘

今年度の新入生から新カリキュラムを実施しています。特徴は次の3点です。①1年次からの段階的な専門教育、②4年間を通した少人数教育の充実、③外国語副専攻の新設。とりわけ少人数教育の充実では、2年次に登録必修科目の「発展演習」を配置し、教員と学生がお互いに「顔の見える」教育の機会を4年間を通して継続させました。また、新入生の登録必修科目として新たに「アカデミックリテラシー」を開設しました。高等学校とは違う大学での勉強の仕方を身につけ、入学直後の躓きをなくすように配慮しています。高等学校のホームルームをイメージしたクラス編成や担当教員の配置、ノートの取り方から発表の仕方、レポートの書き方まで、大学で勉強するにあたって最低限身に付けておくべきノウハウを指導します。学生諸君がこのノウハウを自分なりに消化して我がものとするれば、4年生で「卒業論文」を執筆する際にも必ず役に立つことでしょう。

アカデミックリテラシーを受講して

国際商学科1年 平岡 陽香

(下関市立下関商業高等学校出身)

アカデミックリテラシーでは、大学生活において大切なこと、必要なことを1から学ぶことができました。高校とは全く違う授業内容への戸惑いや、抱えていた不安などがこの授業のおかげで少し軽くなったように思います。中でも特に勉強になったのが、レポートの書き方です。私はこれまでレポートは難しいものだと思っていました。しかし、形式に沿って書けばそれほど難しいものではないということを知りました。さらに、自分が興味を持っていることについてとことん調べてレポートを書く作業はとて楽しそうだと思いました。私も何か興味を持てるものを探して、そのことについて気が済むまで調べてみたいと思いました。

これから、あらゆる授業でたくさんレポートを書くと思います。その時はこの授業で学んだことを生かし、ひとつひとつ丁寧に組みたいです。



第37回優秀赤馬賞受賞報告:ゼミでの研究成果

国際商学科4年 池口 大樹 (富山県立八尾高等学校出身)

国際商学科4年 林 拓真 (報徳学園高等学校出身)

学生論文集『赤馬』第37号において、我孫子麻衣・池口大樹・川上恭亮・土肥瑞希・林拓真・宮本将臣の連名で執筆した「日本の対ASEAN・ODAの過去と現在:タイとカンボジアを中心に」が優秀赤馬賞に選ばれました。

この論文では、日本のASEAN諸国へのODAの変化を論じました。事例として、ASEAN諸国において、ある程度経済発展を果たした新興国の例としてタイを、これから発展を開始しようとする発展途上国の例としてカンボジアを挙げ、援助拠出額や拠出分野の変遷を分析しました。世界的な援助思想の変化もあり、対ASEAN・ODAの姿は随分様変わりしていることが明らかになりました。

この論文は、私たちが所属する山川俊和ゼミと、立命館大学の野敦准教授のゼミとの合同論文発表会の成果をもとにしています。当初はグループ内で意見がまとまらず、なんとか形になったものを発表せざるを得ませんでした。事実、論文発表会の評価は山川ゼミの他のグループより低いものでした。赤馬に投稿するにあたり、再度一人ひとりが論文の方向性と問

題意識を共有し、満足いく形で完成させることができました。受賞にあたり、山川先生の熱心な指導と編集委員の先生から頂戴したコメント、そして山川ゼミ4期生のメンバーに心から感謝します。



国内研修

戦後中国「留用」日本人に関する重要資料

教授 飯塚 靖

私の目下の研究テーマは、1930年代から50年代初頭にかけての中国東北部の重化学工業の発展過程の解明です。特に「満洲国」時期には軍需産業主導の工業化が急速に進められ、この鉱工業設備が中華人民共和国の産業発展の基盤となりました。その中でも、1949～52年は中国共産党政府による「満洲国」時期の工業の復興過程であり、そこでは日本人「留用」者が重要な役割を果たしたと考えています。昨年4月から9月までの国内研修では、派遣先の(財)東洋文庫において「中共事情」関連資料群(大部分が手書きのガリ版印刷)を重点的に調査しました。本資料は、内閣総理大臣官房調査室による後期集団引揚者からの聞き取り調査であり、中共に医者・看護師、運転手、各種工業の技術者・労働者などとして「留用」された人物からの調査が大部分を占めています。

この後期集団引揚は、53年3月から58年7月まで計21次にわたり実施され、3万人以上の人々が帰還しました。本資料では、この引揚者が自身の中国での体験や見聞を生々しく語っており、国共内戦期から人民共和国建国直後の中国の実情を知る重要資料となっています。



研修先の(財)東洋文庫

国内研修報告:環境と貿易の国際政治経済学

准教授 山川 俊和

2014年度の10月から半年間、本学の国内研修制度を利用して、福岡市の西南学院大学において客員研究員として研究する機会に恵まれました。研修の目的は、2009年に一橋大学に提出した博士論文をベースに、「環境と貿易の国際政治経済学」についての研究書をまとめる作業を進めることでした。完成にはいましばらくかかりますが、この機会にはゴールへの着実なステップとなりました。研修先では、図書館の教員専用スペースとデスクを使用することができ、研究が捗りました。古い文献を書庫から引っ張り出してきてコピーしたり、朝から晩まで通して論文を読んだりしました。時間を気にせず勉強できたのは大学院生以来のことで、初日は思わず感動してしまいました。

なお研修中は、日本国際経済学会で「アジアにおける「環境と貿易」:自然資源利用・消費と新興経済圏の台頭に注目して」を口頭発表しました。また、雑誌『現代思想』に、「社会的共通資本がある世界と国際経済:宇沢弘文のTPP批判を中心に」を寄稿しました(写真)。昨年惜しまれつつも逝去された宇沢先生の足跡を辿る特集号です。「ピケティよりも宇沢!」が持論です。多くの方にお読みいただけますと幸いです。



国際交流

留学生歓迎会を終えて

国際交流会ともだち 経済学科3年 坂田 大樹
(下関市立下関商業高等学校出身)

4月24日(金)、私たち国際交流会ともだちが主催する留学生歓迎会を開催しました。たくさんの留学生と来賓の方々や先生方、私たち部員が歓談を行い交流を楽しみました。今回は新入留学生一人が一枚の色紙を持って、歓迎会中に会話をした方にお名前や自己紹介文など様々なことを書いてもらうというゲームを行いました。色紙を使うことでより一層相手のことを知ることが出来たと思います。「留学生歓迎会の記念に何か残したい」という部員みんなの思いからこのゲームを企画しました。

これから私たちは留学生のサポートの他、留学生にたくさんの良い思い出を日本で作ってもらえるように励みたいと思います。



留学生チューターと下関市消防局中央消防署を探検してきました!

ミラッチ アイベルク サニソール (トルコ出身)

4月7日(火)に下関探検ツアーに参加しました。下関に来たばかりの留学生が生活に必要な手続きを行う場所などを教えてもらったり、留学生チューターと話して親しくなったりすることを目的としたツアーでした。

まず、大学に集まり山の田のバス停から唐戸までバスに乗りました。それから留学生チューターと話しながら下関市消防局中央消防署まで行きました。晴れていて、関門海峡の景色も素晴らしかったです。

消防署では消防の仕事と使われている車などについて話を聞きました。そして、地震の仕組みを説明する映画を見ました。その後、消火器の使い方を教えてもらい、消火器を使ってスクリーンの火事を消すゲームをしました。消火器の使い方を知らなかったのが、本当に役に立ちましたし、楽しかったです。

最後はシーモールまで歩き、そこで解散しました。留学生チューターにたくさん日本と日本人の生活について質問していろいろなことを教えてもらいました。うれしかったです。



第1回「日本にいなから世界を知ろう!!」の司会を務めて

国際商学科1年 飛永 百華 (長崎県立長崎北陽台高等学校出身)

5月28日(木)に、山口県国際交流員マリア・アルビオさんをお招きし、「スペインがどんな国か知っていますか?」をテーマに、スペインの文化についてのお話を伺いました。スペインと日本の関係・歴史の紹介から始まり、スペインの有名な料理・スポーツ、トマト祭りや牛追い祭り、最後にスペインの教育について学びました。スペイン語の挨拶を練習したりお祭りの動画を見たりと、とても楽しい時間を過ごし、1時間半が大変短く感じられました。私自身スペインについて調べたことが無かったので、他国の文化に興味を持つ良い機会となりました。

また、司会を務めるにあたり、原稿作成やリハーサル、講師の方との打ち合わせなど、普段ではなかなか経験することが出来ない貴重な体験をさせていただきました。またこのような機会があれば、是非、会の運営に携わら



せていただきたいと思います。

日本酒は、仲間と一緒に飲む時が一番美味しい

ガブリエル ウォルターズ (オーストラリア出身)

酒造りから学ぼう日本文化!で、下関酒造株式会社を訪問しました。今回が2回目の訪問です。みなさんは訪問したことがありますか?私は以前、福島県の喜多方市の有名な酒工場で1週間働いたことがありましたから、「日本酒の造り方はよく知っている」と思っていました。しかし、実は日本酒造りの複雑さについて、少しも理解していないことに今回の講座で気づきました。そしてその上、この伝統的な技術の文化や歴史的背景の知識も全然持っていなかったことに気づきました。

代表取締役の内田忠臣さんから酒に関する豊かな歴史と日本の会社についてのお話を聞くことは、すごく面白かったです。特に、酒蔵を見学し、いろんな酒の種類を味わうことができたのも嬉しかったです。将来下関市立大学に来る交換留学生も、私と同じようにこの日本酒の文化体験を楽しんでほしいと思います。



歴史を感じる しものせき海峡まつり

国際商学科1年 修 婷婷 (中国遼寧省出身)

下関に来て初めて赤間神宮に行き、行事に参加しました。綺麗な着物を着て、とても良い体験だったと思います。今まで、授業でしか学ぶことがなかった歴史を自分の目で直に見て心で感じたことが最も勉強になったと思います。盛大な行事だったので下関市民以外に海外から来た観光客も少なくなかったです。それは歴史の魅力のためだろうと思います。この活動を通じて下関市の歴史を感じただけではなく、着物の美しさも認識しました。

せっかく日本に留学したからには日本語を勉強するだけでなく、文化についても理解したいと思っています。このようなチャンスを活かして、日本の魅力を感じ、最高の思い出にしたいと思います。もし今後機会があればぜひもう一度参加したいです。



最高の思い出の作り方

経済学科4年 レ ティトウイリン (ベトナム出身)

大学入学前の日本語学校時代は、日本にいてもベトナム人とばかり過ごしていました。大学では日本人としっかり交流したいと思い、下関市立大学を選びました。単科大学なので、同じ関心を持つ学生が集まっているし、学校の規模が大きくないので、出会う機会も交流を深める機会も多いと考えたからです。期待通り、大学では、日本人の友達がたくさんでき、一緒に勉強したり、旅行したりするなど、充実した生活を送っています。考えてみると、このような大学生活は、積極的に日本人と関わろうとした自分と、素敵な日本人の友達、両方が揃ったから実現したのだと思います。互いに、言語、文化の壁を恐れず、違いを楽しんだからこそ、最高の思い出がたくさんできたのでしょう。他の留学生、日本人学生にも、違いの壁を越え、最高の思い出をつくってほしいです。



2015年度入学者選抜実施状況

学科	入試種別	定員	志願者	受験者	合格者	実質倍率	入学者	
経済学科	推薦	全国	27	78	78	30	2.6	30
		地域	A	29	45	45	30	1.5
	B							
	一般選抜	前期	52	359	340	73	4.7	57
		中期	83	1915	839	358	2.3	126
	帰国子女		2	0	0	0	-	0
	社会人		2	0	0	0	-	0
	外国人留学生		若干名	12	11	5	2.2	4
第3年次編入学		8	18	15	9	1.7	5	
国際商学科	推薦	全国	27	84	84	31	2.7	31
		地域	A	29	27	27	29	0.9
	B							
	一般選抜	前期	52	87	77	69	1.1	58
		中期	83	1074	449	299	1.5	110
	帰国子女		2	0	0	0	-	0
	社会人		2	1	1	1	1.0	1
	外国人留学生		若干名	21	20	11	1.8	8
第3年次編入学		8	23	21	9	2.3	7	
公共マネジメント学科	推薦	全国	7	37	37	8	4.6	8
		地域	A	8	12	12	9	1.3
	B							
	一般選抜	前期	16	52	48	30	1.6	25
		中期	27	349	133	100	1.3	38
	帰国子女		1	0	0	0	-	0
	社会人		1	1	1	1	1.0	1
	外国人留学生		若干名	0	0	0	-	0
第3年次編入学		4	17	16	4	4.0	2	

※推薦入学の合格者数には第2志望学科合格者を含みます。

2015年度合格者出身校

北海道	小樽桜陽、函館桜北	広島県	広島大学附属福山、広島観音、広島国泰寺、広島皆実、海田、廿日市、五日市、安古市、広、呉三津田、尾道東、尾道北、三原、福山誠之館、福山葦陽、府中、大門、福山明王台、三次、舟入、基町、福山、高陽、広島井口、祇園北、高陽東、安佐北、沼田、安芸南、広島、崇徳、広陵、安田女子、ノートルダム清心、広島国際学院、広島新庄、広島文教女子大学附属、広島なぎさ、呉港、武田、盈進、福山暁の星女子、銀河学院、近畿大学附属広島(東広島校)
岩手県	盛岡中央	山口県	岩国、柳井、下松、徳山、防府、山口、山口中央、宇部、宇部中央、小野田、厚狭、田部、西市、豊浦、長府、下関西、下関南、下関工業、豊北、萩、下関商業、響、西京、下関(中等教育)、青嶺、大津緑洋、防府商工、高水、野田学園、山口県鴻城、宇部鴻城、慶進、宇部フロンティア大学付属香川、早鞆、立修館高等専修学校
茨城県	牛久栄進、霞ヶ浦	徳島県	城東、城南、富岡東、富岡西、鳴門、阿波、脇町、城ノ内、徳島北、海部
栃木県	宇都宮清陵	香川県	土庄、三本松、高松東、坂出、丸亀、普通寺第一、観音寺第一、高松第一、高松西、高松北、高松桜井、三木、英明、香川県大手前高松、香川県大手前、香川誠陵
埼玉県	杉戸	愛媛県	川之江、新居浜西、西条、丹原、今治西、松山南、松山北、東温、大洲、伊予、松山中央、今治東(中等教育)、松山西(中等教育)、愛光、済美平成(中等教育)
千葉県	幕張総合	高知県	高知小津、高知西、構原、中村
神奈川県	桐蔭学園	福岡県	育徳館、京都、小倉南、小倉商業、小倉、小倉西、戸畑、八幡、八幡中央、八幡南、東筑、宗像、新宮、香椎、福岡、福岡中央、筑紫中央、筑紫、久留米、朝倉、田川、東鷹、嘉穂、鞍手、北筑、小倉東、中間、光陵、武蔵台、筑前、香住丘、青豊、浮羽研究館、門司学園、折尾愛真、常磐、九州国際大学付属、近畿大学附属福岡、福岡大学附属大濠、福岡大学附属若葉、精華女子、筑紫台、筑陽学園、中村学園女子、九州産業大学付属九州産業、東福岡、福岡工業大学附属城東、八女学院、九州産業大学付属九州、自由ヶ丘
富山県	滑川	佐賀県	佐賀西、佐賀北、唐津東、唐津西、伊万里、鹿島、鳥栖、致遠館、佐賀清和
石川県	輪島、野々市明倫、星稜	長崎県	長崎東、長崎南、長崎北、佐世保南、佐世保北、佐世保西、大村、島原、猶興館、五島、壱岐、対馬、長崎北陽台、西陵、長崎南山、純心女子、鎮西学院
山梨県	輪島、野々市明倫、星稜	熊本県	熊本、第二、玉名、玉名工業、鹿本、宇土、人吉、熊本北、東稜、文徳
岐阜県	岐山、加納、大垣南、大垣東、加茂、多治見、中津、可兒、鶯谷、富田、岐阜東、美濃加茂、高山西	大分県	高田、杵築、別府鶴見丘、大分舞鶴、大分雄城台、大分西、大分鶴崎、臼杵、竹田、森、日田、中津南、中津北、大分豊府、宇佐、大分東明、昭和学園
静岡県	静岡、島田、榛原、浜松南、浜名、静岡市立、静岡北、静岡学園	宮崎県	高千穂、延岡、日向、高鍋、宮崎西、宮崎商業、都城商業、小林、飯野、宮崎北、宮崎学園、宮崎第一、延岡学園
愛知県	昭和、熱田、東郷、尾北、五条、横須賀、西尾東、豊田東、豊橋東、豊丘、豊橋南、成章、小牧南、豊田南、新川、杏和、愛知、愛知工業大学名電、愛知啓成、星城	鹿児島県	鹿児島中央、加世田、伊集院、川内、出水、大口、加治木、鹿屋、沖永良部、鹿児島玉龍、鹿児島商業、武岡台、川薩清修館、樟南、神村学園高等部
三重県	四日市、神戸、津西、津東、松阪、宇治山田、川越、鈴鹿	沖縄県	首里、浦添、那覇国際、沖縄尚学
滋賀県	膳所、米原、虎姫、河瀬、光泉		
京都府	京都教育大学附属、洛北、東宇治、宮津、久美浜、日吉ヶ丘、西城陽、城南菱創、大谷、京都学園、東山、京都女子、京都産業大学附属、京都成章		
大阪府	箕面、大手前、八尾、河南、長野、榎の木、開明、履正社、興國、大阪借星学園、関西大倉、常翔学園、清風、清教学園、大阪青凌、初芝富田林、金光八尾、大阪学芸(中等教育)		
兵庫県	御影、兵庫、夢野台、長田、星陵、北須磨、芦屋(県立)、伊丹(県立)、伊丹北、川西緑台、川西明峰、柏原、篠山鳳鳴、明石南、明石北、明石西、加古川西、西脇、三木、姫路東、福崎、龍野、赤穂、豊岡、八鹿、浜坂、東播磨、西宮(市立)、姫路、須磨東、網干、高砂南、明石城西、宝塚北、姫路飾西、三田祥雲館、神戸星城、滝川、雲雀丘学園、淳心学院、近畿大学附属豊岡		
奈良県	奈良工業高専、奈良育英、智辯学園奈良カレッジ高等部		
和歌山県	向陽、星林、海南、耐久、日高、田辺、新宮、開智		
鳥取県	鳥取東、八頭、倉吉東、倉吉西、米子東、米子白鳳、米子北		
島根県	安来、松江南、平田、出雲、大社、大田、浜田、津和野、隠岐		
岡山県	岡山朝日、岡山操山、岡山大安寺、岡山芳泉、岡山東商業、倉敷青陵、倉敷天城、倉敷南、津山、玉島(県立)、笠岡、西大寺、総社、高梁、新見、瀬戸、矢掛、精思、岡山一宮、倉敷古城池、玉野光南、総社南、就実、明誠学院、関西、岡山龍谷、岡山学芸館、清心女子		

下関市立大学 オープンキャンパス2015

8/8(土)・8/9(日)・10/4(日)
10:00～(受付9:30～)

- ★参加者全員にオリジナルグッズプレゼント!!
- ★無料ランチ券配付

【全体説明】

- 大学概要:本学の特色などを紹介します。
- 入試説明:今年度入試の概況、来年度入試の概要を説明します。
- 就職状況:就職状況やサポート体制を解説します。

【模擬講義】

本学の教員が高校生の皆さんに、日頃の授業を分かりやすく行います。

【個別相談】

個別ブースでは、入試、大学生活、就職、資格や留学のことなど、あなたのいろいろな疑問にわかりやすくお答えします。

【学内施設ツアー】

在学生とおしゃべりをしながら、学内を散策しましょう。

【小論文対策講座】

テクニックを教える参考書はたくさんありますが、最も大事なものは、技術ではなく、何を伝えたいのかです。小論文をどう書くべきかを実践的に学びます。

【市大生と語ろう】

大学の授業やサークル活動、普段の生活スタイルのことなど、在学生の生の声が聞けます。

【語学体験】

初歩的な会話レッスンや海外の研修先の紹介などを行います。

【学生食堂】無料ランチ

学生食堂で普段学生が食べている人気メニューが味わえます。

※10月4日はプログラムの内容が異なります。詳細はHPをご覧ください。

■無料送迎バス運行(8月のみ)

最寄駅(JR幡生駅・新下関駅)に専用バスがお出迎えます。



下関ユースカレッジ2015を開校します

生まれ育ったふるさと下関のことをもっとよく学びませんか。中学生、高校生を対象に下関市と下関市立大学が共同で8月18日(火)から20日(木)まで「下関ユースカレッジ(中高生夏期大学)」を開校します。

『郷土について学ぼう』をテーマに、今年度は下関の経済や金融、スポーツの魅力について学び、下関の活性化について考えます。座学に加えて現場探索として日本銀行や市議会、港湾・海岸等の設計を行うための実験施設を見学します。

また、大学生との座談会も開催されるため、この機会にキャンパスライフについて色々聞いてみましょう!

※対象は下関市内在住・在学の中学生・高校生です。詳細はHPをご覧ください。



写真は昨年度の様子

平成27年度予算

(単位:百万円)

	区 分	金 額
収 入	運営費交付金	214
	授業料等	1,025
	入学金	124
	入学検定料等	63
	事業収入等	28
	寄附金	3
	目的積立金取崩	41
	計	1,498
支 出	一般管理費	219
	人件費	1,064
	教育経費	136
	研究経費	42
	教育支援経費(図書館)	37
	計	1,498

行事記録(平成27年3月～6月)

- 3月 6日 一般選抜(前期日程)合格発表
- 8日 一般選抜(中期日程)
- 14日 大学院選抜(2次募集)
- 21日 一般選抜(中期日程)・大学院(2次)合格発表
- 25日 卒業式
- 4月 3日 新入生プレイスマントテスト
新入留学生オリエンテーション(環境みらい館)
- 4日 入学式
- 6日 大学院新入生オリエンテーション
公共マネジメント学科新入生研修(～7日)
健康診断(～10日)
- 7日 新入留学生市内探検・防災体験ツアー
在学生・編入学生オリエンテーション
履修事前エントリー(2年生以上)
- 8日 新入生オリエンテーション(～9日)
- 10日 履修登録開始
- 13日 春学期授業開始
- 24日 新入留学生歓迎会
- 27日 前期授業料納入期限
- 30日 特待生表彰式
- 5月 28日 第1回日本にいなながら世界を知ろう!!
- 30日 酒造りから学ぼう日本文化!
- 6月 1日 開学記念日
- 6日 ホームページ対面式
- 7日 下関未来大学開校
- 25日 高校教員対象入試説明会

公立大学中期日程に 「名古屋試験会場」を新設!

平成28(2016)年度一般選抜・中期日程において、東海地区では初めてとなる名古屋試験会場を新設します。

※詳細は、HPをご覧ください。